

信 口

ピアノで全国大会や本選に出場した望月音楽教室の受講生たち



ピアノ全国出場など 成長の手応えを語る

松本の教室通う子ら 市役所訪問

松本市の望月音楽教室に通う園児と小中学生8人が26日、松本市役所大手事務所を訪れ、ピアノコンクールの全国大会や本選への出場を報告した。8人はそれぞれ大会を振り返り、ピアノの楽しさを語った。

高綱中1年の岩垂素己さん(13)は、日本バツハコンクールで全国大会に出場した。小学4年からピアノを始め、初めて全国の舞台に立ったといい、「緊張感にのまれない

ように冷静に弾けた」と話した。

並柳小6年の有賀愛さん(12)は、ピティナ・ピアノコンペティションの連弾部門に出場し、全国決勝大会で入選。「難しい曲に挑戦することで自分の成長を感じられるのが楽しい」と話した。

伊佐治裕子教育長は「松本は『楽都』と言われる。みなさんが歴史を支えている1人だと誇りを持ってほしい」と激励した。